

平成 30 年第 7 回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成 30 年 6 月 26 日（木）午後 1 時 30 分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 応接室
- 3 出席者 長谷川教育長、長沼委員、坂爪委員、渡辺委員、小林委員
- 4 説明のための出席者
栗山教育部長、高橋小中一貫教育推進課長、捧教育センター長、
恋塚生涯学習課長、大谷教育総務課課長補佐、小島子育て支援課課長補佐、
西澤教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 2 人
- 6 議 題
 - (1) 会議録の承認
平成 30 年第 6 回教育委員会定例会会議録
 - (2) 報告
報第 1 号 教育に関する事務の点検及び評価について
報第 2 号 小中一貫教育実施状況について
報第 3 号 平成 30 年度第 1 回三条市学校給食運営委員会会議録について
報第 4 号 平成 30 年度第 1 回三条市社会教育委員会議及び公民館運営審議会会議録
について
 - (3) 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 会議録の承認について
長谷川教育長から平成 30 年第 6 回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定

(2) 報告

報第 1 号 教育に関する事務の点検及び評価について

大谷教育総務課課長補佐が説明

(小林委員)

教育に関し学識経験を有する者で教育事務点検評価委員会を構成するとありますが、
どのような方が委員となっているのですか。

(大谷教育総務課課長補佐)

平成 20 年度から教育事務点検評価を実施していますが、当初から新潟大学の雲尾准

教授に委員長を務めていただいております。また、教職員を退職された方や保護者の代表として市 PTA 連合会から推薦していただいた方など、計 3 名で構成しております。

報第 2 号 小中一貫教育実施状況について

捧教育センター長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

報第 3 号 平成 30 年度第 1 回三条市学校給食運営委員会会議録について

大谷教育総務課課長補佐が説明

(小林委員)

約 50%の三条産食材の使用率というのは、他の自治体と比較して多いのか少ないのかという点と、この使用率とはカロリーベースと金額ベースのどちらでしょうか。

(大谷教育総務課課長補佐)

他の自治体が三条市と同じような形で使用率を公表しているのかが分かりませんが、大変申し訳ありませんが、後日調査した上で回答させていただきます。また、使用率については、カロリーベースです。

(小林委員)

三条産のご飯を使用しているとするとカロリーも相当程度だと思いますが、野菜などご飯以外の食材を三条市内から調達できるのに市外から調達しているのではないかと感じます。50%という数字が高いのか低いのかの感覚が分からないため、他の自治体の事例も知りたいと思いました。

(長谷川教育長)

三条市の地産地消率は非常に高いと認識をしておりますが、肉や魚など三条市で入手できない食材もあり、これらが地産地消率を引き下げている要因となっているものがあります。改めて数字としてお示しさせていただきます。

(渡辺委員)

市内で小麦粉アレルギーの児童生徒はどれくらいの人数がいるものですか。

(大谷教育総務課課長補佐)

平成 29 年度における食物アレルギーを有する児童生徒の主な食物アレルギーの要素については、玉子が 27.7%、イカ・エビが 21.8%、イカ・エビ以外の魚介類が 17.8%となっております。なお、小麦粉については、現在データを持ち合わせておりませんので、後日回答させていただきます。

(長谷川教育長)

先ほどの件と合わせて御報告させていただきます。

報第4号 平成30年度第1回三条市社会教育委員会議及び公民館運営審議会会議録
について

恋塚生涯学習課長が説明

(小林委員)

利用率はどのような算出式になっているのでしょうか。

(恋塚生涯学習課長)

各講座の申込者数に対する実際の参加者数の割合です。

(3) 次回教育委員会定例会の日程について

大谷教育総務課課長補佐から提案があり、教育長が諮り次のとおり決定

〔日時〕平成30年7月26日(木)午後2時

〔会場〕三条市役所栄庁舎 応接室

8 閉会宣言 午後1時57分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

三条市教育委員会

教育長 長谷川 正二